

政策調整会議の概要

開催日 平成21年4月23日(木)

項 目

1 骨太の方針「2009」に向けての提案項目整理について【総務部】

1の説明終了後、県選出国會議員への事前説明に対する感触・反応について説明【東京事務所】

内 容

1 骨太の方針「2009」に向けての提案項目整理について【総務部】

総務部より資料を配布のうえ概要説明があった。説明終了後、東京事務所から、4月9日と14日に行った県選出国會議員への事前説明に対する感触・反応について報告があり、その後、意見交換を行った。

【概要説明】

- ・ 4月17日に経済財政諮問会議が開催され、骨太の方針「2009」の大項目である、1 社会保障制度 2 税財政制度 3 成長戦略 4 農政改革といった大きなテーマに沿って議論された。
- ・ 安心社会実現会議は、大項目の1及び2に、4月17日に閣議決定された未来開拓戦略は3に対応しており、それぞれ議論された内容は、骨太の方針「2009」に盛り込まれることになる。
- ・ 安心社会実現会議の座長代理である吉川洋氏は、社会保障国民会議の座長でもある。社会保障国民会議での意見は安心社会実現会議に一定反映されるものと思われる。
- ・ 今月17日には、南国道路等の凍結解除に向け、国土交通省への要望を前倒しして行った。また、22日には、知事が安心社会実現会議の事務局長である増田前総務大臣と懇談をし、その際、「高知県の医療と福祉」の資料を使って説明したが、「次の安心社会実現会議で披露させてもらう」との、県の実情に理解を示すコメントをいただいている。
- ・ 平成22年度国の政策等に対する提案・要望の知事対応項目について、昨年度は11項目だったが、今回は23項目もあるため、総務部で厳選させてもらう。本県の実情に沿い、知事が説明しやすい資料の作成を、月末ぐらいまでにお願する。
- ・ 骨太の方針の作成に係るキーマンとなる人とは、東京事務所も面識があるので、引き続き、情報収集をしていく。また、4月中に動きがあるかどうか、情報をまとめて報告したい。(東京事務所)

【主な意見】

- ・ 4月17日に、事業凍結となった道路の関係で国土交通省への要望を行ったが、4月24日に、企画建設委員会が開催され、要望時のやりとりについて報告することになっている。事業凍結への対応については、県議会でも何らかのアクションを起こすことになっている。
- ・ コストをどこまで理解してもらうかが大事。委員会での報告内容については、よく打ち合わせをしておくこと。(副知事)
- ・ 自分たちの提言を「骨太の方針」に反映させ、予算を獲得していくために、「この一言があればよかったの」といった後悔がないよう、具体的な文言を入れるなど、細心の注意を持って対応してほしい。(副知事)

- ・ 国の補正予算への対応については、財政課から照会があり、5月19日が提出の締切となっている。交付金総額1兆円で、本県にもいくらか配分される見込み。

人口割りによる配分が考えられており、本県にも相当な金額が配分される見込みである。ソフト事業にも活用でき、使い勝手のよいものであるため、今まで予算の関係でできなかった事業に積極的に取り組んでいただくようお願いする。別途、交付金の活用についての一定の方針はお示ししたいと考えている。

- ・ 自殺対策基金とか、基金がたくさん設置されている。情報を収集し、使えるものは使えるようにしておいていただきたい。

2 その他（産業振興推進総合支援事業費補助金審査会について）

- ・ 昨日から、産業振興推進総合支援事業費補助金の審査会が始まり、申請のあった13件のうち、7件を審査した。一定練り上がったものを出したつもりであったが、審査には7時間を要した。
- ・ マーケットインの発想の欠如、マーケットリサーチの必要性など、ビジネスサイドからはビジネスとしてはまだまだといった、意見も出された。
- ・ 4月28日に第2回を開催し、残りの6件を審査することになっている。